（作成者：クリニカルパス専門部会）

リツキサンの治療を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／	2病日 ／	3病日 ／	4病日：退院 ／	【退院後の緊急連絡について】
達成目標	・治療について理解できる	・38.0度以上の発熱がない		・退院指導の内容を理解できる	・治療後3週目以降より、めまいやふらつきなどの症状が出現することがあります。体力も低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください 以下の症状がある時はご連絡ください ・37.5度以上の発熱 ・風邪症状 【緊急連絡先】 ・平日時間内（8：30～17：00） 内科外来 ：0985-85-9883 ・土日・祝日、時間外 5階東病棟 ：0985-85-1789
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します	・治療薬投与の30分前にアレルギー症状を予防する薬を内服します			
注射		・点滴をします。治療後は点滴を抜きます			
検査	・レントゲン ・心電図 ・身長・体重測定			・体重測定	
処置		・治療中は、心電図、酸素飽和度モニターをつけます。点滴投与から1時間後、医師の指示で心電図、酸素飽和度モニターを外します			
食事	・制限はありません				
活動・安静	・制限はありません				
清潔	・制限はありません				
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・リツキサン治療に関するパンフレットを用いて、治療の副作用と対処方法、退院後の生活について説明します ・転倒・転落予防について説明します				
その他	・同意書は職員にお渡しください	・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴をしているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください			
		・治療薬投与から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、ほかの方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください			

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2024年9月承認
2025年3月更新